

## 方程式

2021. 8. 5

世の中は、どうも二重構造になっているという人がいる。結婚したいと言っている人からは結婚が遠ざかるし、お金がほしいと言っている人からはお金が遠ざかるし、健康がほしいと言っている人ほど健康が遠ざかっていくというのである。だから、講演などでも「聴かなくてもいいですよ」みたいな話のほうが聴きたくなる。

ある保険会社が、車につけてあるお守りの数と事故率を調べたところ、お守りの数が多くなるほど事故率が高いという統計が出た。なぜお守りが多いほど事故に遭いやすいかという、前が見えなくなるからというわけではない。

世の中の構造は、執着をもって求めるほど遠ざかる傾向がある。営業ナンバーワンになりたいと年間1000回言ったとすると、来年もまたその言葉を1000回言うようになるし、健康がほしいと言っている人は、来年も再来年も同じことを言い続けることになる。つまり叶っていないわけである。

言ったことが叶うのではない。言った言葉をまた言いたくなるようにセットされるらしいというのが、世の中の方程式である。

年に1000回言うのであれば、「ありがとう」がいい。1000回、「ありがとう」と言っていれば、来年もまた「ありがとう」を1000回言いたくなるような現象が勝手に降ってくる。何が降ってくるかは分からないが、とにかく「ありがとう」を言いたくなる現象が1000個セットされる。そのようになっているようである。

これは、「うれしい」「楽しい」「幸せ」「ついでに」というような言葉でも同じである。このような言葉をずっと言っていると、言った回数だけ、その言葉をまた言いたくなるようにセットされているわけである。

これらは、ものすごく簡単なことである。お金もかからない。世の中の方程式に沿って言葉を使うことで、人生が潤い、豊かになるとすれば、考えてみる価値はある。

皆さんのまわりには、よく「うれしい」とか「ついでに」という言葉を口にする人はいないだろうか。こういった人に共通していることとして、前向き、ポジティブ、明るいなどが挙げられる。そして魅力的な人物であるということである。愚痴や不満、文句というものが出てこないことも共通点である。意識はしていないのかもしれないが、方程式に沿って人生を豊かにしているということであろう。

では、自分はというと、「ありがとう」だろうか。まだまだ方程式に沿っているとは言えないが、「ありがとう」こそ、現在ある言葉の中で、最高の影響力をもつように思える。今年の目標は、1年に「ありがとう」を1000回言うことである。一見むずかしそうに思えるが、1日にすると、3回である。決してむずかしくはない。

さて、昨日は、「ありがとう」を3回、口にしたらどうか。まずは、毎日必ず顔を合わせる家人に対し、必ず「ありがとう」と伝えることから始めよう。